

2026年5月期第2四半期 決算報告

シグマ光機株式会社

2026年 1月 14日 (水)

証券コード： 7713



目次

1. 2026年5月期第2四半期 決算概要・通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

3. 質疑応答

- 半導体業界向けの需要は分野等別に強弱がみられる中、一部の大口顧客の需要が軟調。
- 海外地域等は回復の兆し。通信業界向け及び防衛業界向けが好調。
- 人的投資等の費用増加を見込んだ期初予算比で営業利益増益。価格改定の効果等が寄与。

【百万円】	FY24'2Q		FY25'2Q		FY26'2Q				
	実績	YoY	実績	YoY	実績	YoY	構成比	予算比増減額	予算比増減率
売上高	5,702	+0.9 %	5,550	△2.7 %	5,441	△2.0 %	100.0 %	△128	△2.3 %
営業利益	652	△17.4 %	553	△15.2 %	526	△4.8 %	9.7 %	+51	+10.9 %
経常利益	741	△19.0 %	592	△20.0 %	589	△0.7 %	10.8 %	+84	+16.7 %
親会社株主に 帰属する 中間純利益	512	△18.0 %	404	△21.1 %	382	△5.3 %	7.0 %	+67	+21.5 %
1株当たり 中間純利益	72円34銭		57円08銭		54円05銭		—		—
平均為替レート									
1USドル	141.31円		152.30円		146.57円			140.00円	
1ユーロ	153.51円		165.46円		167.74円		—	155.00円	
1人民元	19.80円		21.15円		20.38円			19.50円	
1SGD	105.05円		114.05円		112.98円			108.00円	

2 セグメント別売上高・営業利益（連結）

売上高

【百万円】

製品区分	FY24'2Q	FY25'2Q	FY26'2Q		
	実績	実績	実績	構成比	YoY
要素部品事業	4,688	4,743	4,607	84.7 %	△2.9 %
光学基本機器製品(HW)	1,423	1,429	1,428	26.3 %	△0.1 %
自動応用製品(MS)	975	862	890	16.4 %	+3.3 %
光学素子・薄膜製品(OP)	2,288	2,451	2,288	42.1 %	△6.6 %
システム製品事業	1,048	849	872	16.0 %	+2.7 %
光学システム製品(SY)	1,048	849	872	16.0 %	+2.7 %
消去	△34	△42	△38	△0.7 %	-
合 計	5,702	5,550	5,441	100.0 %	△2.0 %

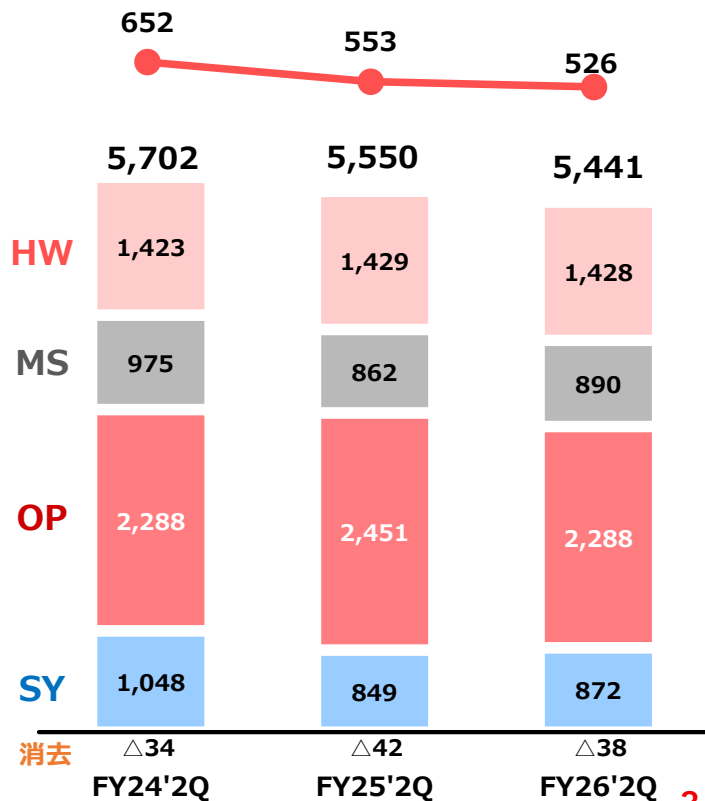
営業損益

【百万円】

事業区分	FY24'2Q	FY25'2Q	FY26'2Q	
	実績	実績	実績	YoY
要素部品事業	805	830	704	△15.1 %
システム製品事業	113	△6	83	-
消去	△266	△270	△261	-
合 計	652	553	526	△4.8 %

● 営業損益
■ 売上高

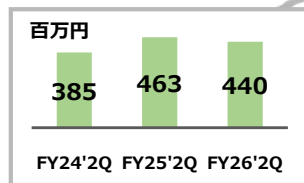
【百万円】



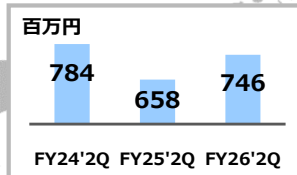
3 海外販売先別売上高（連結）

●アメリカを中心に全体的に回復基調で推移。+7.8%(YoY)

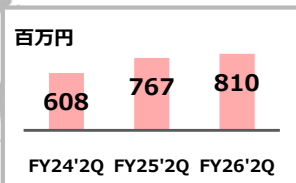
ヨーロッパ △5.1%(YoY)



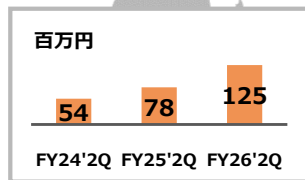
アメリカ +13.3%(YoY)



アジア・オセアニア +5.5%(YoY)



その他 +60.1%(YoY)



平均為替レート

	FY24'2Q	FY25'2Q	FY26'2Q
1USDドル	141.31円	152.30円	146.57円
1ユーロ	153.51円	165.46円	167.74円
1人民元	19.80円	21.15円	20.38円
1SGD	105.05円	114.05円	112.98円

FY26'2Q

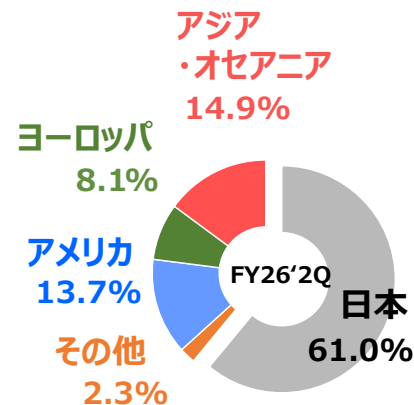
海外売上高

2,123 百万円

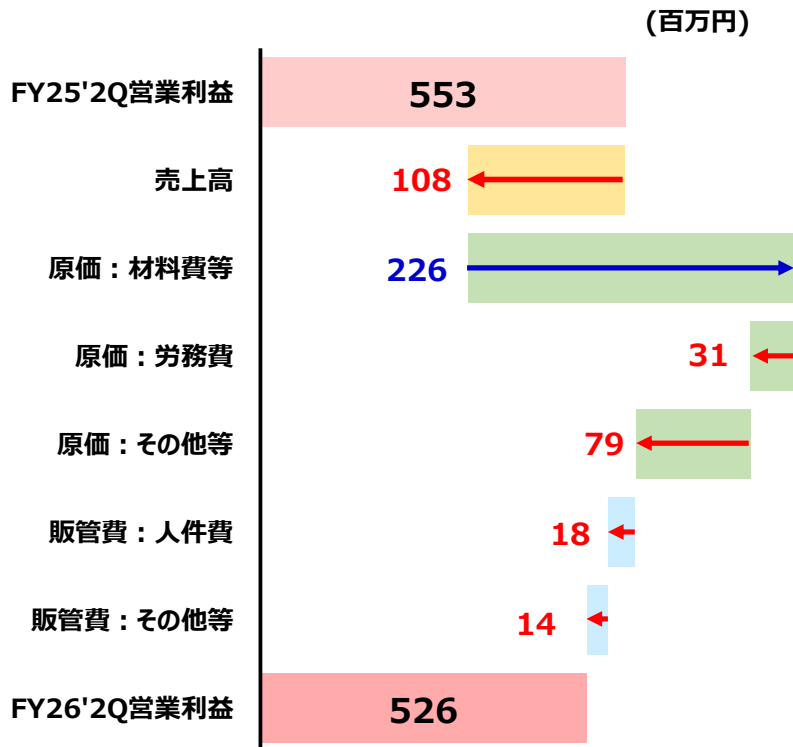
海外売上高構成比率

39.0 %

販売先別売上高構成比



●売上高の減少及び一部費用増も、価格改定の効果等により、前年同期比26百万円の微減。



■各項目の対前年比

(百万円)

売上高： △108（利益減少）

- ・半導体業界向けの一部の大口顧客向けが軟調
- ・自動応用製品及び光学システム製品は堅調

売上原価： △115（利益増加）

- ・材料費等： △226
価格改定の効果、業務効率化によるコスト削減等
- ・労務費： +31
人員の増加及び賃金見直し等による人的投資の増加
- ・その他等： +79
工場棟の増設による減価償却費の増加、米国関税関連費用の増加等

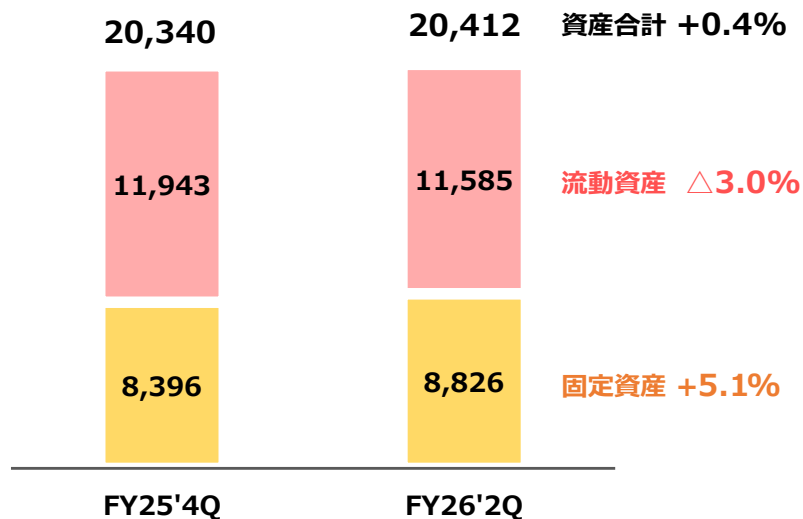
販売管理費： +33（利益減少）

- ・人件費： +18
人員の増加及び賃金見直し等による人的投資の増加
- ・その他等： +14
広告宣伝費の増加、減価償却費・試験研究費の増加等

●自己資本比率は87.9%で安定推移。

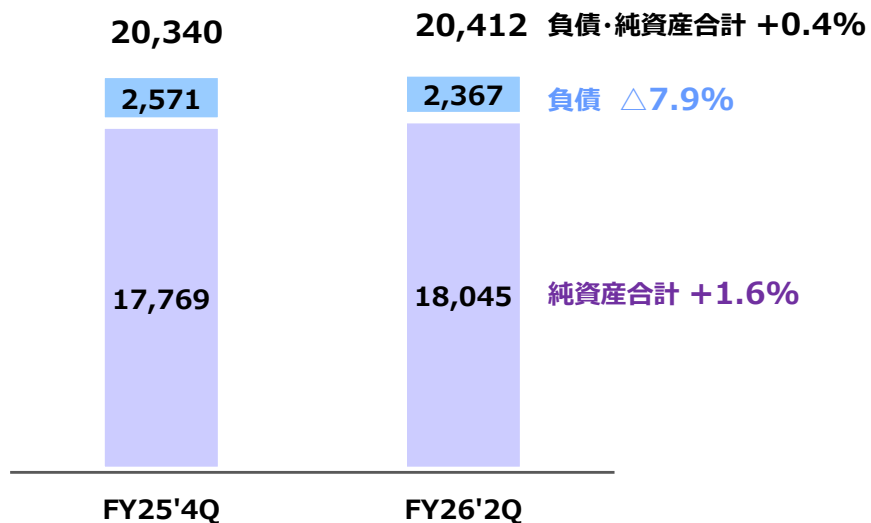
資産の部 / 増減率（HoH）

（百万円）



負債・純資産の部 / 増減率（HoH）

（百万円）

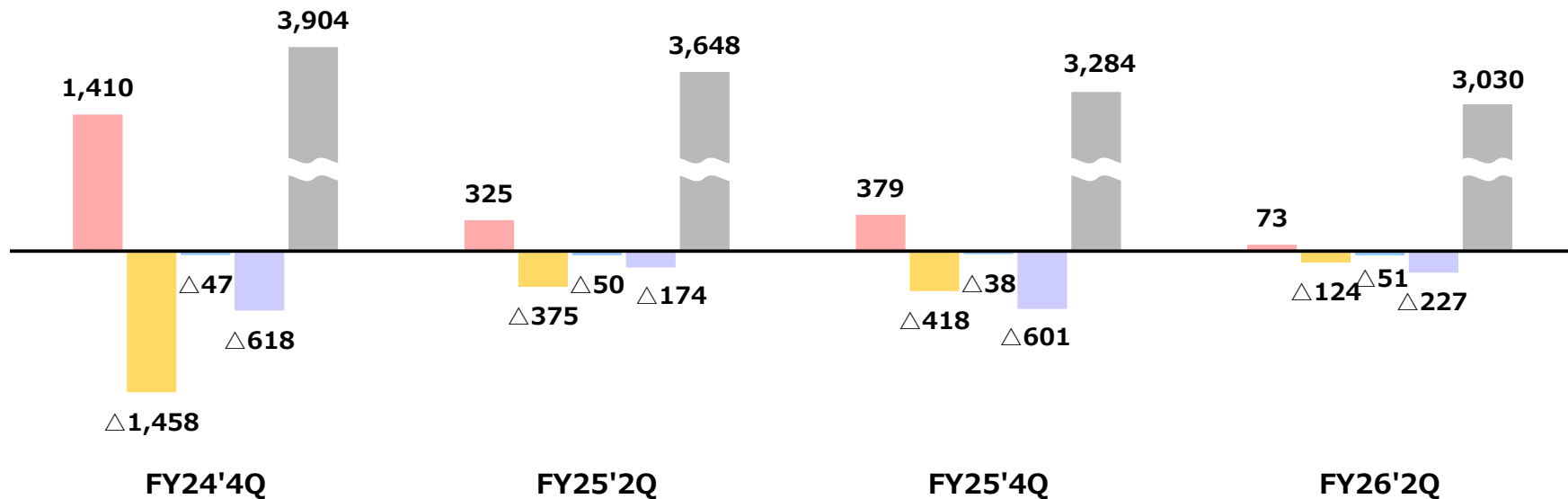


- 税金等調整前純利益から差引く法人税の支払及び売上債権の増加等により獲得した営業CFは少額。
（前年同期は法人税の還付発生）

※電子記録債務・支払手形による支払いをすべて銀行振込に見直したことで、現金及び現金同等物の期末残高が前年同期から大幅に減少。

■ 営業CF ■ 投資CF ■ FCF ■ 財務CF ■ 現金及び現金同等物の期末残高

【百万円】



- 世界経済の先行きは不透明感が強い状況が続くも、当社関連の需要は回復の兆し。
- 価格改定の効果が得られる中、一部大口顧客の需要回復等により営業利益は前年比増益。

【百万円】	FY24		FY25		FY26					
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期予算	通期予算	構成比	YoY	YoY(%)
売上高	11,213	100.0 %	11,580	100.0 %	5,441	6,253	11,695	100.0 %	+114	+1.0 %
営業利益	1,178	10.5 %	1,131	9.8 %	526	693	1,220	10.4 %	+88	+7.9 %
経常利益	1,349	12.0 %	1,269	11.0 %	589	730	1,320	11.3 %	+50	+4.0 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	687	6.1 %	986	8.5 %	382	502	885	7.6 %	△101	△10.2 %
1株当り 当期純利益	97円03銭	—	139円23銭	—	54円05銭	—	124円96銭	—	—	—

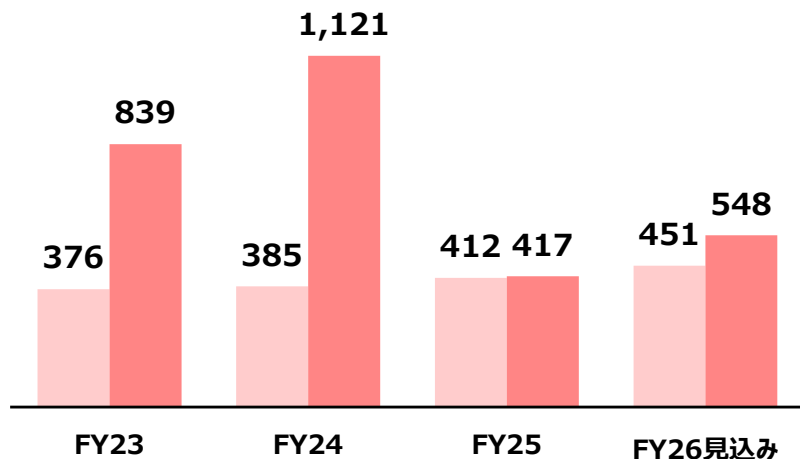
当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=148.00円、1ユーロ=170.00円、1人民元=20.50円、1SGD=114.00円で計算しております。

- 設備投資は石川2工場及び米国子会社の新規設備導入を見込む。
- 将来に向けた研究開発を継続。

減価償却費・設備投資

(百万円)

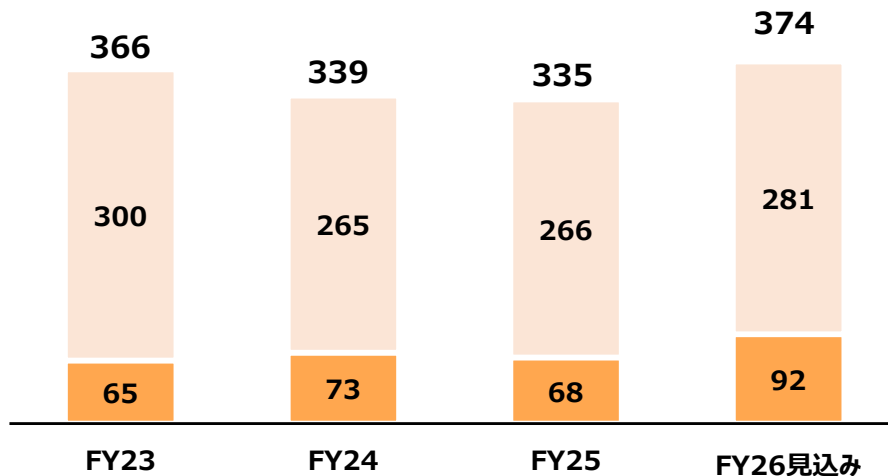
■ 減価償却費 ■ 設備投資



研究開発費

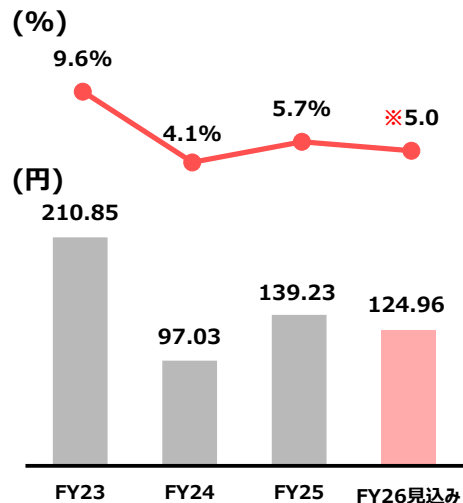
(百万円)

■ 部材費 ■ 人件費等



- 2026年5月期後半に向けて市場が回復見込み。
- 配当性向33.6%の安定配当を維持。

自己資本利益率(ROE) / 1株当たり純利益(EPS)



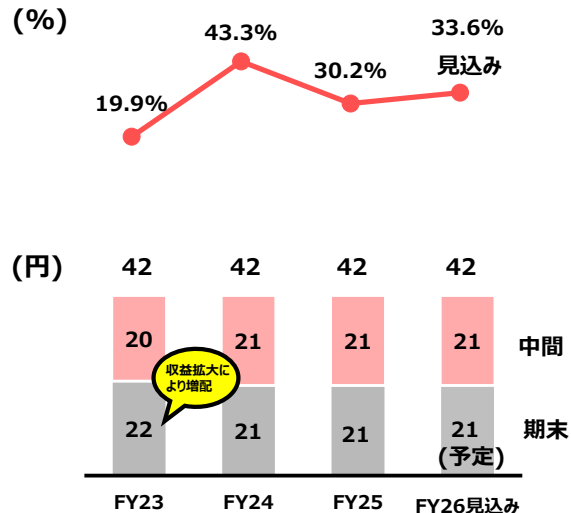
※FY25'4Q時点の自己資本額を元に試算しております。

財務体質

(百万円)

	FY25'4Q	FY26'2Q
自己資本比率	86.9%	87.9%
利益剰余金	11,414	11,648
純有利子負債	△2,926	△2,743

配当性向・配当額



目次

1. 2026年5月期第2四半期 決算概要・通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

3. 質疑応答

経営理念

「光産業を通じ、社会に貢献します」

中期経営方針

「Great Reset」

持続的な企業価値向上に向けて、
「光技術の可能性」を先見し、長期的な視点に基づく企業風土に変革する

中期経営方針

「Great Reset」

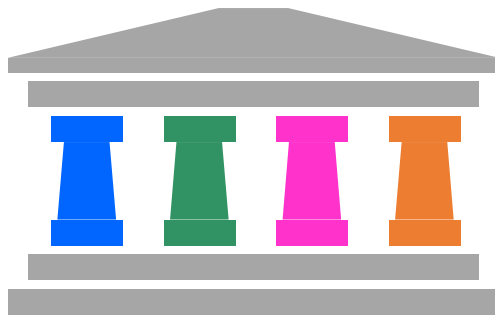
中期経営方針の4つの柱（重点戦略）

01 成長戦略

持続的に成長し続ける
新市場開拓&既存事業深耕

03 事業継承

内部環境の持続可能性を高める
次世代経営幹部・中核人材の育成



02 ビジネスモデル変革

更なる高付加価値の創出に挑戦する
マーケットを絞った独自製品の展開

04 社会貢献

外部環境の持続可能性を高める
Light Solutions for Life®

長期視点からの企業価値の最大化に向けた経営戦略を推進中

成長戦略

- ①新市場・成長市場向けの展開強化
- ②既存事業の継続成長対応



半導体など



バイオ・メディカル



量子



AI&ロボティクスなど

ビジネスモデル変革

- ①特定マーケット向けオリジナル製品の企画&開発&生産
- ②専門企業とのコラボレーション企画&開発



ポータブルな医療機器
& ウェルネス機器製品



PIC、光ファイバ、光導波路等、
通信用の調芯システム



「頭部専用PET装置Vrain®」
の受託製造

事業継承・中核人材育成

- ①次世代経営幹部の育成
- ②当社オリジナル人材教育研修の拡充



海外展示会での
人的交流



社内オリジナル研修
の継続 (WWS)



海外グループ会社及び
国内持分法適用会社役員登用

社会貢献

- ①持続可能な企業活動に向けたサステナビリティ推進
- ②教育分野&医療・介護・福祉&エネルギー関連



国内外の光学技術者
育成に向けた教育や技術支援



行政・医療機関への
寄贈や共同開発



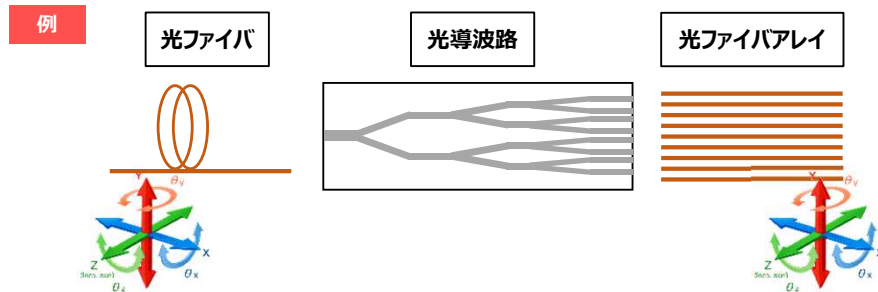
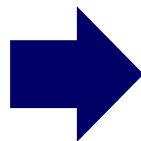
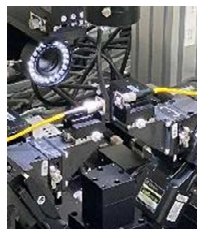
CO2削減(非化石
燃料由来電力導入)

最先端の研究開発・生産現場で要求される高い技術対応力と信頼性を提供

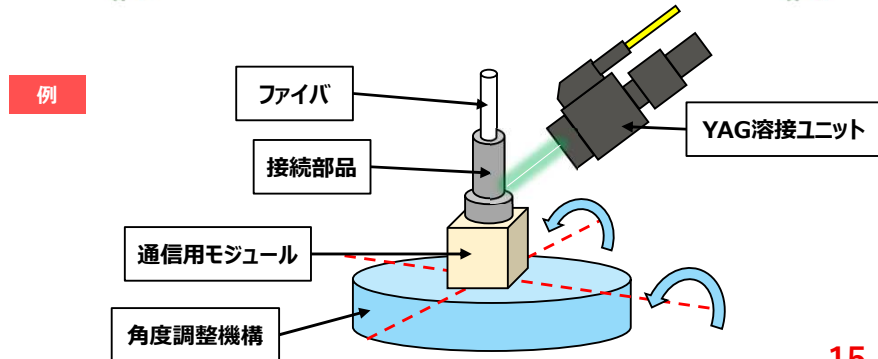
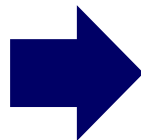
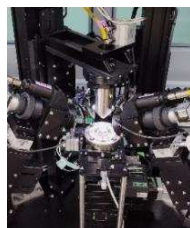
調芯システム：

PIC（光集積回路）、光ファイバ、光導波路、通信用モジュール等、光学デバイス及び光学部品等における調芯（光軸調整等の光接続等）を行う「光」と「モーションコントロール」を組み合わせた自動アライメントシステムです。

パッシブデバイス調芯： 導波路等調芯・UV接着タイプ



アクティブデバイス調芯： 通信用モジュール等調芯・YAG溶接タイプ



※実機での操作性・再現性・評価をご確認いただけるデモ機をご用意しています。

「通信」、「量子」、「光電融合」業界等の光学製品の評価・組立等で需要増加！

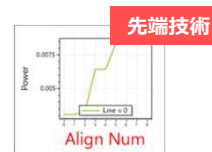
ポイント 1. 自社製品を中心としたソリューション提案

- 高精度・高剛性で信頼性の高い機構部
- ユニット別に拡張できる制御部 等

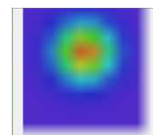


ポイント 2. 高度な要求に応える技術体制を整備

- 自社製自動調芯ソフトウェア（任意動作パターンのマクロ登録も可能）



ネルダーミード調芯



スパイラル調芯



ラスター調芯

- 超高精度位置決め製品ラインナップの拡張



ナノフィードバックステージ



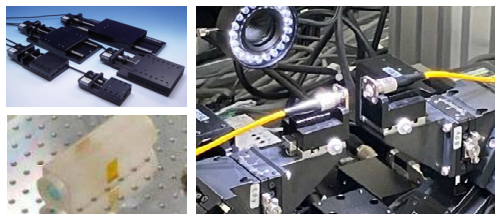
コントローラ

1ナノオーダーで駆動！

※1ナノメートル(nm)
=100万分の1mm

国家PJ&研究機関

- 量子研究向け光学ユニット対応中
- 量子研究向け
高精度調芯システム需要増加



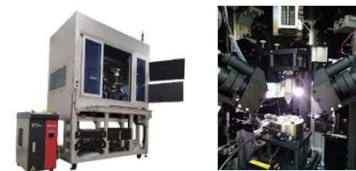
電子部品・半導体

- 半導体向け設備組込製品、
高精度光学ユニット需要継続
- 半導体検査向け対物レンズ需要継続
- FPD向け設備組み込み製品需要継続



通信・車・センシング

- 通信用デバイス向け
高精度調芯システム需要増加
- 通信用モジュール向け
高精度調芯システム需要増加
- 姿勢制御向けセンシング需要増加



メディカルフォトリクス

- 医療用検査システム装置需要増加
- バイオ向けユニットの需要増加
- 医療機器・健康ガジェット機器開発



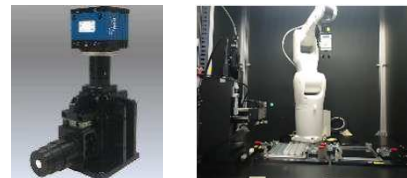
防衛・航空宇宙

- 防衛向け光学ユニット需要増加
- 航空宇宙関連の需要継続



その他産業装置等

- 放射線分野向け測定装置需要継続
- AI・ロボティクス自動検査装置
内製・評価継続



欧州

- 設備投資意欲は回復傾向、新規OEM創出中
- 研究機関向け大口/高難度チャレンジ案件の受注フォロー中
- バイオフォトニクス向け製品需要継続
- 研究機関向けの調芯システム受注フォロー中

北米・南米

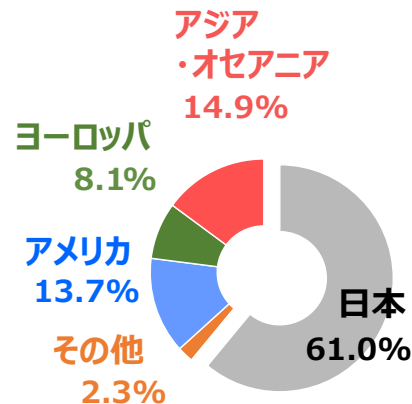
- 設備投資意欲は緩やかな回復基調の見通し
- 半導体生産設備用OEM製品の需要回復傾向
- メディカル分野向け光学ユニットの需要回復傾向
- 新規光学製品の内製に向けた社内体制構築中
- 国家PJ等、高難度チャレンジ案件獲得に注力

アジア

※日本除く

- 中国産業分野の設備投資は不透明な状況続く
- 一部の生産設備組込用製品の需要は堅調
- 先端産業の生産設備向けの需要は増加傾向
- 東南アジアの量子研究分野向けの需要増加

(参考)2026年5月期中間
販売先別売上高構成比



目次

1. 2026年5月期第2四半期 決算概要・通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

3. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。

補足資料

四半期別セグメント別売上高・営業損益

売上高

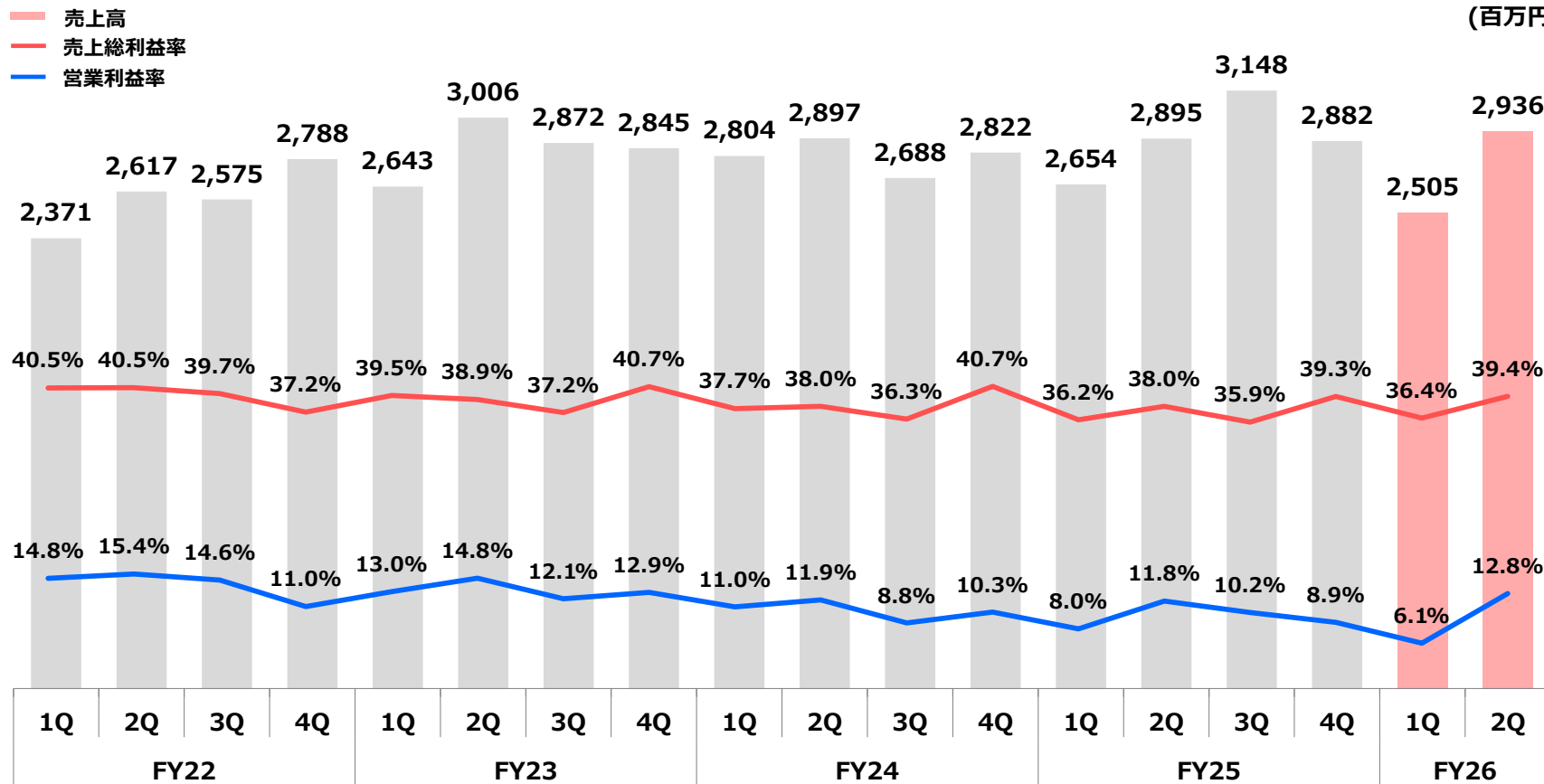
【百万円】	FY24'1Q 実績	FY24'2Q 実績	FY24'3Q 実績	FY24'4Q 実績	FY25'1Q 実績	FY25'2Q 実績	FY25'3Q 実績	FY25'4Q 実績	FY26'1Q 実績	FY26'2Q 実績
要素部品事業	2,333	2,354	2,186	2,340	2,314	2,428	2,648	2,365	2,132	2,475
光学基本機器製品(HW)	717	706	660	645	702	727	776	792	685	743
自動応用製品(MS)	461	514	426	468	423	438	536	461	435	455
光学素子・薄膜製品(OP)	1,155	1,133	1,100	1,226	1,188	1,263	1,336	1,111	1,011	1,276
システム製品事業	493	555	527	512	355	494	528	542	390	482
光学システム製品(SY)	493	555	527	512	355	494	528	542	390	482
消去	△21	△12	△25	△29	△14	△27	△29	△26	△17	△21
合 計	2,804	2,897	2,688	2,822	2,654	2,895	3,148	2,882	2,505	2,936

営業損益

【百万円】	FY24'1Q 実績	FY24'2Q 実績	FY24'3Q 実績	FY24'4Q 実績	FY25'1Q 実績	FY25'2Q 実績	FY25'3Q 実績	FY25'4Q 実績	FY26'1Q 実績	FY26'2Q 実績
要素部品事業	407	398	307	402	352	477	445	366	262	442
システム製品事業	38	74	57	52	△12	5	18	61	17	66
消去	△138	△128	△128	△165	△127	△143	△142	△171	△127	△133
合 計	307	344	236	289	212	340	321	256	152	374

売上高・利益率推移

(百万円)



売上高

【百万円】

			FY24'2Q	FY25'2Q	FY26'2Q
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	4,732	4,530	4,383
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	892	827	895
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	412	464	493
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	321	482	421
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	78	133	74
消去又は全社			△734	△888	△825
連結			5,702	5,550	5,441

営業損益

【百万円】

			FY24'2Q	FY25'2Q	FY26'2Q
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	795	732	730
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	33	△43	△30
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	22	33	△8
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	16	43	40
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	△5	△2	△2
消去又は全社			△210	△210	△202
連結			652	553	526

売上原価の推移

【百万円】	FY24'2Q		FY25'2Q		FY26'2Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	YoY
売上高	5,702	100.0 %	5,550	100.0 %	5,441	100.0 %	△2.0 %
売上原価	3,542	62.1 %	3,488	62.8 %	3,372	62.0 %	△3.3 %
材料費等	2,292	40.2 %	2,162	39.0 %	1,935	35.6 %	△10.5 %
労務費	897	15.7 %	941	17.0 %	972	17.9 %	+3.3 %
減価償却費	123	2.2 %	133	2.4 %	159	2.9 %	+19.8 %
その他	228	4.0 %	251	4.5 %	304	5.6 %	+21.2 %
売上総利益	2,159	37.9 %	2,062	37.2 %	2,069	38.0 %	+0.3 %

販売管理費の推移

【百万円】	FY24'2Q		FY25'2Q		FY26'2Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	YoY
売上高	5,702	100.0 %	5,550	100.0 %	5,441	100.0 %	△2.0 %
販売管理費	1,507	26.4 %	1,508	27.2 %	1,542	28.3 %	+2.2 %
販売促進費	208	3.7 %	176	3.2 %	175	3.2 %	△0.7 %
広告宣伝費	50	0.9 %	31	0.6 %	49	0.9 %	+55.6 %
人件費	660	11.6 %	700	12.6 %	718	13.2 %	+2.6 %
減価償却費	37	0.7 %	29	0.5 %	31	0.6 %	+7.7 %
試験研究費	171	3.0 %	171	3.1 %	173	3.2 %	+0.8 %
その他	377	6.6 %	400	7.2 %	395	7.3 %	△1.2 %
営業利益	652	11.4 %	553	10.0 %	526	9.7 %	△4.8 %

主要設備投資

○FY23実績

・白山技術センター増築(当期支払分)	2.8 億円
・光学素子設備投資	2.1 億円
・能登工場増築(当期支払分)	1.5 億円
・オプトシグマ設備投資	0.6 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.5 億円

○FY24実績

・オプトシグマ新社屋リノベーション・設備投資	4.8 億円
・能登工場増築(当期支払分)	3.1 億円
・白山技術センター増築(当期支払分)	1.5 億円
・情報システム投資	0.4 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.4 億円

○FY25実績

・オプトシグマ新社屋リノベーション・設備投資	1.4 億円
・基本機器設備投資	0.6 億円
・検査測定機器	0.5 億円
・能登工場増築(当期支払分)	0.4 億円

○FY26見込み

・石川2工場設備投資	0.9 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.7 億円
・光学素子設備投資	0.5 億円
・オプトシグマ設備投資	0.5 億円

研究開発費補足説明

【百万円】

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費込み) 売上高比率
FY23	300	3.2%
FY24	265	3.0%
FY25	266	2.9%
FY26見込	281	3.2%

○部材費

	自社	うち産学官連携
FY23	65	20
FY24	73	24
FY25	68	35
FY26見込	92	27